

## 安全データシート (SDS)

会社名 東リ株式会社  
CS環境室  
住所 兵庫県伊丹市東有岡5-125  
電話番号 06-6494-1535  
作成日 1993年 4月23日  
改訂日 2024年 4月 1日

1 化学物質等及び会社情報	
製品の名称	GAスプレー
緊急連絡先	東リ株式会社 CS環境室 TEL (06) 6494-1535 FAX (06) 6492-9037
推奨用途	タイルカーペット用接着剤
使用上の制限	特になし。但し、高周波水分計 HI-520-2 型 D.MODE 測定値がグレード I (下地水分指標 8% 以下) を超える下地湿気の場合には使用不可。

2 危険有害性の要約			
重要危険有害性	物理的及び化学的危険性	可燃性エアゾール、加圧ガスを含有。 熱、火花、裸火、高温などの着火源から遠ざける。火気厳禁	
	人の健康に対する有害な影響	呼吸器への影響やめまい等をおこすことがあるので、蒸気やミストの吸入を避ける。 膚刺激性や眼刺激性があるので直接の接触を避ける。	
	環境に対する有害な影響	水生生物に対して毒性があるので、一般環境への流出や廃棄は避ける。	
GHS 分類	物理化学的危険性	エアゾール	区分 1
		引火性液体	区分 2
		他の物理化学的危険性は区分に該当しない、または分類できない。	
	健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
		眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
		生殖毒性	区分 2
		特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
		特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (神経系)
誤えん有害性		区分 1	
他の健康有害性は区分に該当しない、または分類できない。			
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 2	
他の環境有害性は区分に該当しない、または分類できない。			
GHS ラベル要素	絵表示又はシンボル	 炎/健康有害性/感嘆符	
	注意喚起語	危険	

	<p>危険有害性情報</p>	<p>極めて可燃性の高いエアゾール (H222)                  高压容器：熱すると破裂のおそれ (H229)                  引火性の高い液体および蒸気 (H225)                  皮膚刺激 (H315)                  強い眼刺激 (H319)                  生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)                  呼吸器への刺激のおそれ (H335)                  眠気又はめまいのおそれ (H336)                  長期にわたる、又は反復暴露により臓器の障害(神経系) (H372)                  長期にわたる、又は反復暴露により臓器の障害のおそれ(血液) (H373)                  飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)                  水性生物に毒性 (H401)</p>
	<p>注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床材の接着以外で使用しないこと。</li> <li>・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。一禁煙 (P210)</li> <li>・裸火または他の着火源で噴霧しないこと。(P211)</li> <li>・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/施工機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する措置を講ずること。(P241+242+243)</li> <li>・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)</li> <li>・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)</li> <li>・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)</li> <li>・有機溶剤作業主任者立会のもとで使用すること。</li> <li>・環境への放出を避けること。(P273)</li> <li>・この製品を使用する時、飲食または喫煙をしないこと。(P270)</li> <li>・取扱後は手、口、顔をよく洗うこと。(P264)</li> <li>・使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)</li> <li>・使用前に安全情報シート (SDS) を参照すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)</li> </ul>
	<p>応急措置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲み込んだ場合、無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。(P301+310+331)</li> <li>・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P304+340+312)</li> <li>・皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚又は髪を水/シャワーで洗うこと。(P303+361+353)</li> <li>・皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。(P332+313)</li> <li>・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。常にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305;351+338)</li> <li>・眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当てを受けること。(P337+313)</li> <li>・気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。(P314)</li> <li>・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。(P308+313)</li> <li>・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。(P362+364)</li> <li>・火災の場合、消火するために指定の消火剤を使用すること。(P370+378)</li> </ul>
	<p>保管</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設して保管すること。(P405)</li> <li>・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。容器を密閉しておくこと。(P403+233+235)</li> <li>・法令で定められた期限内で保管すること。</li> <li>・日光から遮断し、40°C 以上の温度にばく露しないこと。(P410+412)</li> </ul>

	廃棄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容物を使い切ってから廃棄すること。</li> <li>・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)</li> <li>・有毒ガスが発生する場合がありますので、燃やさないこと。</li> </ul> エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示 使用中噴霧が噴出する構造のもの (火災発生状態等による火災が認められるもの) 又は噴霧剤として可燃性ガスを使用しているもの 高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・炎や火気の近くで使用しないこと。</li> <li>・火気を使用している室内で大量で使用しないこと。</li> <li>・高温になると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が 40℃以上となる所に置かないこと。</li> <li>・火の中に入れないこと。</li> <li>・使い切って捨てること。</li> </ul> 高圧ガス: DME (ジメチルエーテル)
	(備考) 国・地域情報	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン等の厚生労働省が指定した化学物質及び、アスベストの意図的な配合はしておりません。

3 組成及び成分情報						
化学物質・混合物の区別		混合物				
化学名又は一般名		ゴム系溶剤形接着剤				
危険有害成分 (危険有害不純物)		アセトン、n-ヘキサン、ジメチルエーテル				
組 成	化学名又は一般名	濃度範囲 (wt%)	CAS 番号	化審法	労安法	PRTR 法
	合成ゴム (SBR)	10~20	—	非該当	非該当	非該当
	n-ヘキサン	20~30	110-54-3	既存/優先評価	表示・通知	第一種
	アセトン	5~15	67-64-1	既存/優先評価	表示・通知	非該当
	ジメチルエーテル	40~50	115-10-6	既存	非該当	非該当

(注) PRTR法に該当します。(n-ヘキサンは含有量が1%以上のため、該当となります。)

4 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動させて、呼吸しやすい姿勢で休息させる。安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着物を拭き取り、多量の水と石鹸でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合は、速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	清浄な水で15分間以上洗浄し、直ちに眼科医の診断を受ける
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで、水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	摂取すると中毒を起こす。蒸気でめまいや窒息を起こすおそれがある。
最も重要な兆候及び症状	特になし
応急処置をする者の保護	口対口法を用いてはならない。逆流防止のバルブがついたポケットマスクや他の適当な医療用呼吸器を用いて人工呼吸をおこなう
医師への特別注意事項	物質名、防護のための注意を通知する。

5 火災時の措置	
消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	極めて燃えやすい、火花、火炎で容易に発火する。

	加熱により容器が爆発する恐れがある。 火災時に刺激性または有毒なガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動させる。 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 風上から消化する。

<b>6 漏出時の措置</b>	
人体に対する 注意事項	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
保護具及び 緊急時措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 付近の着火源を直ちに除去し、消火器材を準備する。
環境に対する 注意事項	排水溝、下水溝、地下室、あるいは狭い場所への流入を防ぐ。 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を引き起こさないよう注意する。
封じ込め及び 浄化方法・機材	危険でなければ漏れを止める。 砂、あるいは他の不燃性の吸着材を用いて集め、容器に移して後で廃棄する。
二次災害の 防止策	全ての発火源を速やかに取り除く。 混合気は、空気より重いので、空気中に漏れると下方へ流れ、低所に溜まりやすく、ガス爆発の原因となる。

<b>7 取扱い及び保管上の注意</b>		
取扱い	技術的対策	火気厳禁。禁煙。電気機材は防爆構造にするほか静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする
	局所排気・全体換気	防爆に注意しながら換気をおこなう
	接触回避	状況によって保護眼鏡、保護手袋、保護衣等を着用する。
	安全取扱い/注意事項	取扱い後は、手洗い及びうがいを充分行う。
保管	技術的対策	熱源からは遠ざけて保管する。
	混触禁止物質	酸化剤
	保管条件	容器を密閉して直射日光、湿気を避け、涼しく換気の良い所に保管する。
	容器包装材料	特になし

<b>8 暴露防止及び保護措置</b>					
	化学名又は一般名	管理濃度	許容濃度		
			日本産業 衛生学会	AGGIHT	
				TWA	STEL
成分	n-ヘキサン	50 ppm	40 ppm	50 ppm	—
	アセトン	500 ppm	200 ppm	500 ppm	750 ppm
	ジメチルエーテル	—	—	—	—
気中の平均濃度が管理濃度を超える場所(第3管理区分)で使用する場合は、女性は就業しない。					
保護具	呼吸器の保護具	呼吸用保護具(有機溶剤ガス用又は送気マスク)を必要に応じて着用する。			
	手の保護具	保護手袋を必要に応じて着用する。			
	目の保護具	保護眼鏡を必要に応じて着用する。			
	皮膚及び身体の保護具	保護衣を必要に応じて着用する。			
設備対策	屋内作業所での使用の場合は、局所排気装置等の排気のための装置を設置する。 取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い、洗顔設備等を設け、その位置を明瞭に表示する。				

衛生対策	作業後、手を良く洗い、うがいをしてから飲食等をする。
------	----------------------------

9 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体、液化ガス
色	淡黄色 (半透明)
臭い	特異臭
融点・凝固点	(n-ヘキサン) -100—-95°C (アセトン) -94.7°C (ジメチルエーテル) -141.5°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	(n-ヘキサン) 69°C (アセトン) 56.2°C (ジメチルエーテル) -24.8°C
可燃性	危険物第四類第一石油類、危険等級II、強い可燃性
爆発範囲の上限・下限 ・可燃限界	(n-ヘキサン) 1.1-7.5 vol% (アセトン) 2.5-12.8 vol% (ジメチルエーテル) 3.4-26.7 vol%
引火点	(n-ヘキサン) -22°C (アセトン) -18°C (ジメチルエーテル) -42°F
自然発火温度	(n-ヘキサン) 225°C (アセトン) 561°C (ジメチルエーテル) 350°C
分解温度	-
PH	-
動粘性率	-
溶解度	(n-ヘキサン) 153mmHg (アセトン) 233 hPa (ジメチルエーテル) 4430mmHg
蒸気圧	(n-ヘキサン) 0.0011% (アセトン) 水と自由に混合 (ジメチルエーテル) 35.3%
相対密度 (比重)	約 0.76 (原液として)
相対ガス密度 (空気=1)	-
粒子特性	-

10 安定性及び反応性	
安定性	通常取扱条件においては安定
危険有害反応可能性	高温にすると爆破の危険がある。
避けるべき条件	加熱、40°C以上の高温の場所。
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	火災時に一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

11 有害性情報	
急性毒性 (経口)	区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2 (n-ヘキサン) 区分2。
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	区分2 (n-ヘキサン) 区分2。 (アセトン) 区分2 B。蒸気は人の眼を刺激するが、暴露が止まると刺激性は続かない。
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発癌性	区分に該当しない
生殖毒性	区分2 (n-ヘキサン) 区分2。

	(アセトン) 区分 2。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用) (n-ヘキサン) 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)。 (アセトン) 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分 1 (神経系) (n-ヘキサン) 区分 1 (神経系)。 (アセトン) 区分 2 (血液)。
誤えん有害性	区分 1 (n-ヘキサン) 区分 1。 (アセトン) 区分 2。

<b>12 環境影響情報</b>	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2 (n-ヘキサン) 区分 2。
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない
残留性・分解性	(n-ヘキサン) 良分解性 (アセトン) 良分解性 (ジメチルエーテル) 難分解性、低濃縮性
生体蓄積性	(n-ヘキサン) 生物蓄積性が低いと推定される
土壤中の移動性	現在のところ知見なし

<b>13 廃棄上の注意</b>	
残余廃棄物	容器内のガスを完全に抜き取った後に廃棄する。 「廃棄物の理及び清掃に関する法律」の定めるところに従う。
汚染容器及び包装	空容器 (缶) を廃棄する時は内容を完全に除去した後、都道府県の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

<b>14 輸送上の注意</b>	
国連番号	1 9 5 0
品名 (国連輸送名)	エアゾール製品
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	クラス 2.1 高圧ガスのうち、引火性高圧ガス
容器等級	—
海洋汚染物質	海洋汚染物質に該当する。
陸上輸送	消防法：貯蔵等の届出を要する物質政令石油液化ガス (300kg)
海上輸送	港則法：危険物 (引火性液体類)、危険物 (高圧ガス) 船舶安全法：高圧ガス
航空輸送	航空法：高圧ガス (D-旅禁)、毒物 (N-等級 3)、引火性液体 (G-等級 2)
緊急時応急措置指針番号	1 2 6
特別の安全対策	運搬に際しては、容器の破損、漏洩がないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 引火性の強い溶剤を含有しているので火気厳禁。

<b>15 適用法令</b>
----------------

化審法	既存化学物質	(n-ヘキサン) 既存化学物質 2-6、優先評価化学物質 3 (アセトン) 既存化学物質 2-542、優先評価化学物質 114 (ジメチルエーテル) 既存化学物質 2-360
	安全性(分解性・凝縮性)	(n-ヘキサン) 良分解性 (アセトン) 良分解性 (ジメチルエーテル) 難分解性、低濃縮性
	安全性(毒性)	該当せず
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)		(n-ヘキサン) 第一種指定化学物質 政令 1-392
毒物及び劇物取締法		該当せず
労働安全衛生法	表示・通知義務対象物質	(n-ヘキサン) 別表 9-520 (アセトン) 別表 9-17
	有機溶剤中毒予防規則	(n-ヘキサン) 第二種有機溶剤、別表第六の二の 39号 (アセトン) 第二種有機溶剤、別表第六の二の 1号
	変異原性を認められた化学物質	該当せず
	がん原性物質	該当せず
	皮膚等障害化学物質	(n-ヘキサン) 皮膚吸収性有害物質
オゾン層保護法		該当せず
大気汚染防止法		(n-ヘキサン) 有害大気汚染物質、中環審 9 次答申の 207
水質汚濁防止法		該当せず
有害物質家庭用品規正法		該当せず
消防法		危険物第四類第一石油類、危険等級 II
船舶安全法		該当せず
悪臭防止法		該当せず

## 16 その他の情報

出典・参考文献	J I S Z 7 2 5 2 - 2 0 1 9 「GHSに基づく化学物質等の分類方法」
	J I S Z 7 2 5 3 - 2 0 1 9 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」
	化学物質の危険、有害便覧
	産業中毒便覧
	化学物質総合情報提供システム (CHRIP) (独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
	GHS分類結果データベース (独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
	原材料各社による使用化学製品の「製品安全データシート」
	溶剤ハンドブック (産業図書株式会社)
16514の化学商品 (化学日報社)	

## 【ご注意】

- ・記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。なお、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであつて、特別な取り扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないでください。
- ・危険・有害性の評価は必ずしも充分でない可能性もありますので、取扱いには充分注意して下さい。